

令和 7 年度 峰小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤に，心身ともに健康で，自分の夢や目標のために自ら考え進んで行動できる心豊かでたくましく生きる児童を育成する。

(1)健康でたくましい子【元気】 (2)よく考え進んで学ぶ子【やる気】 (3)心豊かで，思いやりのある子【思いやり】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ 「地域とともにある学校」

教育基本法，学校教育法及び同施行規則，学習指導要領，栃木県教育委員会の指導の指針，第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画，第2次宇都宮市学校教育スタンダード，令和7年度指導の重点等に合致した学校経営を目指す。また，本校の教育目標の達成のため，児童の実態や児童の発達段階，特性，地域社会や保護者の願いなどを十分把握するとともに，うつのみや学校マネジメントシステムを十分に生かすことにより，全教育活動を通して心豊かでたくましく生きる児童の育成に努める。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 児童にとって居がいのある活力あふれる楽しい学校・学級を目指し，児童が主役となる場を意図的に設定し，充実感や達成感を味わうことにより，自ら進んで行動できる児童を育成する。
- (2) 長所を引き出し，認め励ます教育を実践する中で，自己の成長を実感させ，自己肯定感を高める。規範意識の醸成，望ましい人間関係と社会性の育成に努めるために，学校教育全体をととして人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動を推進する。
- (3) 楽しく分かる授業の実践ときめ細かな指導の充実，意欲的に取り組む授業づくり，ICT等を効果的に活用するとともに，学びに向かう集団づくり，家庭と連携した家庭学習を推進し，学力の向上を図る。
- (4) 生涯にわたって健康で安全な生活を実現する力を育むために，実践的な不審者・災害避難訓練，交通安全教室などを通して身を守るための行動力の育成，健康や体力の増進，望ましい食習慣の確立に努める。
- (5) ○地域の資源・人材を積極的かつ有効に活用するとともに，地域学校園の教育ビジョンを念頭に小中一貫教育の利点を生かした教育活動を推進し，信頼される学校の実現を目指す。
- (6) 教育公務員としての自覚と責任をもち，コンプライアンスを遵守するとともに，勤務時間を意識した働き方改革と校務を効率的に行うための工夫改善，事業内容の検討・見直し等を推進する。
- (7) 教職員の専門性や特性が生かせる校務分掌とその体制づくりを推進するとともに，校内研修を活性化させ，教育専門職としての資質と能力の向上を目指す。

【陽東地域学校園教育ビジョン】

「地域の教育力を生かし，地域とのかかわりを通して，確かな学力の定着を図り
心豊かでたくましく生きる子どもの育成」

4 教育課程編成の方針

- (1) 地域協議会を窓口とした保護者や地域団体等の学校への積極的な参画の推進
- (2) 地域団体との連携と地域資源の積極的な活用の推進
- (3) 外部の学校評価等を活用し，開かれた学校・地域とともにある学校の実現
- (4) 地域活動等への積極的な参加の奨励と相互理解の推進
- (5) 地域の教育力を最大限に活用した働き方改革の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（１）学校運営 ○・重点活動〔峰小 元気・やる気・思いやり活動〕の推進 ・学校経営への参画意識の高揚と組織的で効率的な企画・運営の工夫改善 ○・児童や地域の実態，地域の環境に即した教育計画の作成と実践 ・自分の夢や目標の実現に向けてたくましく生きる児童の育成を目指した教育活動の推進 （２）学習指導 【やる気】＝「自ら進んで表現できる児童の育成」 ○・基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成を目指して教材やＩＣＴ等を効果的に活用した授業，デジタル・シティズンシップの育成，問題解決的な学習の充実，家庭学習の習慣化，教科担任制の導入に向けた体制作り ○・「宇都宮モデル」を踏まえた，「主体的・対話的で深い学び」の授業を工夫し，「できた」「分かった」が実感できる「楽しい授業」の展開と，個に応じた指導の充実 ・学習目標の明確化と学習のまとめや振り返りを意識した学習展開の工夫，AI 型ドリル等の計画的な活用，学び合える活動等の工夫 ・「学習の約束」を活用した学習の準備，返事，チャイムの合図の順守の徹底 ・読書活動の推進・充実と読解力の育成 （３）児童生徒指導 【思いやり】＝「自ら考え，適切な判断と行動ができる児童の育成」 ○・「峰小よい子の一日」や「陽東地域学校園児童生徒の目標」を活用したルールやマナーを守る態度の育成，互いに認め合い励まし合おうとする態度，高め合える学級経営の充実 ・「いじめゼロ集会」の実施，人権標語を作成することで感謝する心，人を思いやる心，生命や人権を尊重する態度の育成 ・道徳科の指導の充実と道徳的実践力の育成 ○・共に学び合う場や互いのよさを認め合う場の意図的な設定による，望ましい人間関係の醸成 ・確かな児童理解に基づく自己肯定感を高める声掛けの継続と個を生かす教育の実践 ・家庭や各種団体と連携したあいさつ運動の推進 （４）健康（体力・保健・食・安全） 【元気】＝「生涯にわたり心身の健康保持増進を図ることができる児童の育成」 ○・元気っ子チャレンジや各種検定への積極的な参加，自発的なあいさつと返事の励行 ○・「うつのみや元気っ子健康体力チェック」の活用等による進んで運動に親しむ態度の育成，自己の健康増進に向けた生活習慣の定着 ・生活習慣チェックの実施により，児童自らが自分の健康を振り返る機会の充実 ・望ましい生活習慣の育成と食に関する指導の充実 ・教育活動全体を通じた安全教育の充実・徹底，危険回避能力の育成	
--	--

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1-（1） 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は，学習課題を解決するために友達と話し合ったり，必要な情報を集めたりしながら，じっくり考え，進んで学習に取り組んでいる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①「宇都宮モデル」を活用した授業づくりや「できた」「分かった」が実感できる「楽しい授業」を展開する。 ②児童が多様な考えをもち，主体的に学習に取り組めるようにするため，授業の中に児童が考えたり話し合ったりする時間や自分の考えを発表する場を設ける。		【達成状況】 【次年度の方針】

1ー(2) 豊かな心を 育む教育の 推進	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①全ての教育活動の中で、自他の特徴やよさについて考えたり伝え合ったりする時間や場を設定する。 ②道徳科において、児童の発達段階や特性等を考慮し、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的学習等を適切に取り入れるなど、指導方法を工夫する。 ③いじめゼロ集会や人権週間を実施し、人権を尊重する態度を育成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①授業において、児童の興味や課題に応じた発展的な課題を用意し、児童の挑戦意欲を喚起する。 ②黙々と努力することを必要とする課題に取り組ませる中で、自分の努力の結果と向き合わせ、次の意欲につなげる。 ③根気強く取り組む喜びやおもしろさ等を児童が自主的に見出せる課題を設定し、児童が最後までやり遂げられるように支援する。	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、健康や安全に気を付けて生活している」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①「うつのみや元気っ子チャレンジ」に参加し、楽しみながら運動する機会を数多くもたせる。 ②健康に関する意識を高めるために、外部講師や養護教諭と連携した授業や保健指導を行う。 ③<u>食育月間や給食週間などの食育行事に進んで参加するよう支援し、各自の望ましい食習慣の醸成を図る。</u> ④各種災害を想定した実践的な避難訓練、交通安全教室、不審者対応避難訓練を実施し、児童が危険を予測し、自らの命を守り抜くための行動力を育成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、自分の良さや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、キャリアパスポート等を活用して、自らの成長や変容などの自己理解を促す。 ②学級活動や児童会活動の充実を図り、様々な集団活動に取り組む中で、自己有用感を高める。 ③帰りの会などを活用して、互いに認め合う活動等を取り入れ、自己存在感の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

2- (1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A 6 児童は、英語を使って コミュニケーションして いる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、外国語活動（英語） の授業やALTとの交流の際 に、英語を使ってコミュニケー ションしている」⇒児童の 肯定的回答 85%以上	①児童が英語を使って自分の気持ち や考えなどを適切に伝えることがで きるようになるために、教員が自ら積 極的に英語を使う。 ②児童が生きた英語に触れる機会の 充実を図るために、ALTを活用し た、英語によるやりとりを中心とした 授業を行う。 ③校内に外国語活動コーナーを設け、 テーマについて友達の思いを知った り、他学年の学習内容を知ったりする ことで、児童が活動や学習に興味をも てるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童は、宇都宮のよさ を知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮のよさを知っ ている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①生活科・社会科、総合的な学習の時 間の授業などにおいて、体系的な学習 を行い、児童が郷土宇都宮の歴史や伝 統文化、産業などについて理解し、郷 土への愛情と誇りがもてるようにす る。 ②国語科の授業などにおいて、百人一 首に親しむ学習に取り組み、郷土宇都 宮に対する誇りや愛情を育む。 ③各種たより等で保護者への啓発を 行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、デジタル機器や図 書等を学習に活用している」 ⇒教職員の肯定的回答 90% 以上	①タブレット型パソコンをはじめと するデジタル機器を活用して、主体 的・対話的で深い学びを促進し、児童 の情報活用能力を育成する。 ②教科学習で学んだことを確かめたり、 自分の考えをまとめたりするなど 主体的な学習活動を効果的に行うた めに、学校図書館を活用する。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社会」 について、関心をも っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、『持続可能な社会』に ついて、関心をもっている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以 上	①環境や国際理解、防災や食などをテ ーマにESD（持続可能な開発のため の教育）やSDGsに取り組む。 ②各教科において、これまで行ってきた 学校行事や体験活動などを「持続可 能な社会」の視点から関連付け、教科 の枠を超えた横断的、総合的な教育活 動を実践する。	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A 10 教職員は、特別な支援 を必要とする児童の実態 に応じて、適切な支援を している。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を 必要とする児童の実態に応じ て、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90% 以上	①特別な支援が必要な児童について、 個別の支援計画を作成・活用し、学校 全体で指導にあたる。 ②学級担任とかがやきルーム指導員 が指導目標や指導の手立てについて、 直接話し合ったり、指導記録を確認し たりする時間を設け、かがやきルーム における指導の充実を図る。 ③保護者や関係職員（交流学級等）と 丁寧に連絡を取り合い、交流及び共同 学習を積極的に推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】

3-(2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上（いじめ解消率 100%）	①いじめゼロ強調月間はもとより、あらゆる機会を通して、いじめが許されない行為であることを指導する。 ②アンケートや教育相談の結果を踏まえて、児童理解を適切に行い、学級活動や道徳科の時間に望ましい人間関係を醸成するための心情や判断力を育てる。 ③HP や学校だより・児童指導だより・学年だよりを利用していじめ対策や学校の現状を公表し、家庭・地域との連携を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①児童の自己肯定感を高めるために、児童が主体的に活動する場や活躍できる場を意図的に設定する。 ②児童と教師の信頼関係を構築するために、常日頃から児童同士の交友関係の把握に努めるとともに、受容的な態度で寄り添い、児童の話に積極的に耳を傾ける。 ③欠席状況共有シートなどで欠席状況を把握するとともに、校内教育支援委員会を活用し、学校全体で組織的・計画的に支援を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①学校行事や児童会活動等で、児童が自主的・主体的に取り組む場を意図的に設定する。特に、<u>あいさつ運動では、児童の発想や主体性を生かし、学校全体であいさつの気運を高めていく。</u> ②Q-U テストや学校生活アンケートを活用して、一人一人の児童にとって居がいのある学級づくり、分かる授業の展開に努める。 ③学級活動やロング昼休みを利用して、学級全員で遊んだり教師と児童が共に遊んだりする機会をもつ。	【達成状況】 【次年度の方針】
3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化			
4-(1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①<u>授業のめあてを明確にするとともに、板書や発問、授業形態等を工夫した授業を行う。また、終末には授業で分かったことを振り返る時間をもつ。</u> ②児童一人一人の実態をとらえ、教材研究をするとともに、学校課題の研究や一人一授業等で積極的に授業を公開し、互いの指導法を向上させる。	【達成状況】 【次年度の方針】

4-(2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①学校職員が協力して学校業務に取り組める体制を整えるため、専門性や特性を生かした校務分掌を組織する。 ②チームとして学校の力を最大限に生かすために、事前に連絡や話合いの場を設定する。さらに学校業務に取り組む中で進展状況及び達成度を確認し、改善策等を共有していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①業務の精選、校務分掌の見直し、地域との連携、外部人材の活用など業務負担の軽減に取り組む。 ②教職員は、効率的に業務を進め、長時間労働にならないように努める。 ③勤務時間を意識した働き方を推進するため、教職員が取りやすい形でリフレッシュデーを実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①交流授業や中学校訪問等を通して中学校進学に対する児童の不安軽減を図る。 ②学校園で統一して、次のことを行うことで、連携強化を図る。 ・給食：お弁当の日や統一献立 ・保健：学校保健委員会 ・学習：家庭学習のきまり ・児童指導：よい子の一日 等 ③「陽東地域学校園ナビ」を活用して児童・保護者の陽東地域への所属感を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①企業、地域の各種団体、「街の先生」、宇都宮大学、ボランティアなどとの連携・協力による活動をさらに充実する。 ②「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を密にし、学校運営の充実を図る。特に、地域コーディネーターと連絡・調整を図りながら、学校支援ボランティアの活用を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」⇒保護者、地域住民の肯定的回答 90%以上	①教室内外の掲示物を整えるとともに、定期的な整理・整頓をさせるなどして、学習にふさわしい環境を維持する。 ②場所に応じた清掃の仕方の指導の工夫や班長への指導の充実を図り、縦割り班清掃を通して望ましい環境整備に努める。 ③長期休業等を利用して、特別教室や資料室の整備を行う。 ④安全な学習環境を確保するため、日常的な点検や消毒、換気等を行い、施設・設備の維持管理や修繕を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、授業（授業準備も含む）や業務に、デジタルを積極的に活用している」 ※デジタル・・・一人一台端末、ミライム、スズキ校務、さくら連絡網等 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①教職員が授業で効果的にデジタル機器やネットワークを活用できるよう、ICT支援員や情報主任と連携した研修を通して、教職員の技能向上を図る。 ②デジタル機器や各種システムを積極的に活用し、教職員同士及び保護者等との情報の共有化を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
陽東地域学校園共通	B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒教職員の肯定的回答 90%以上 B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、きまりやマナーを守って、生活をしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①あいさつ運動月間を設定し、児童会を中心にあいさつ運動を行う。 ②、<u>P T Aや地域協議会、地域学校園等と連携したあいさつ運動を実施する。</u> ③教職員が率先してあいさつをする。 ④あいさつの効果や重要性について、道徳科や学級活動の時間、全体朝会・一斉下校等を活用して指導する。 ①「<u>学習のきまり</u>」を掲示し、必要に応じて確認させるなどしながら、<u>学習訓練を徹底させる。</u> ②「<u>峰小よい子の一日</u>」に基づいた生活目標を設定し、学級活動や朝・帰りの会等で繰り返し継続的に指導していくことにより、基本的生活習慣を身に付けさせる。 ③「<u>峰小よい子の一日</u>」を掲示するとともに「<u>ふりかえりシート</u>」による振り返りを行うことで、約束を守って生活できたかを振り返るとともに、峰小学校の児童としての自覚を深めさせる。	【達成状況】 【次年度の方針】 【達成状況】 【次年度の方針】

	B3 児童は、家庭においても家庭学習や読書の習慣が身につけている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、家で、進んで家庭学習（宿題）や読書をしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習時間の目安や自主学習の例などを示して、児童が主体的に家庭学習に取り組めるようにする。 ②読書ノート「<u>みね読書人</u>」の一層の活用を図ったり、「<u>読書いっぱい活動</u>」により、<u>家庭と連携して「家読」を奨励したりする。</u> ③各種だより・HP等で家庭学習や読書の意義や期待される効果を取り上げ、保護者の協力を得る。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題	B4 児童は、峰小の合言葉「元気・やる気・思いやり」を意識して生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、峰小の合言葉『元気・やる気・思いやり』を意識して生活するよう指導している」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①峰小の合言葉を行事や活動のねらいに位置付けたり、合言葉に沿って学級目標を設定したりすることで、意識化を図る。 ②行事や集会等で、合言葉に沿って児童が活動する様子を示すことにより、よりよい校風づくりを推進する。 ③学校だより・学年だよりに児童の活動の様子を掲載し、確実に保護者へ合言葉が伝わるように周知を強化する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B5 児童は、各種検定カード等をもとに、めあてをもって運動に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、めあてを決め、達成にむけて運動に励んでいる。（検定・学習カードや一人一台端末の活用）」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①新体力テストの結果から、課題を明確にし、スポーツ集会や教科体育の時間に計画的に補強していく。 ②各種検定カード・体育学習カード・ミニマムを活用して各人に応じためあてをもたせ、教科体育や休み時間に取組を支援する。なわとび検定では、児童同士で技を伝達する機会を設け、さらに意欲・技術の向上を図る。 ③取組の様子を「元気活動」として学校だよりやHP、学年だよりで家庭・地域に知らせ、意欲の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B6 学校は、異学年・幼稚園・保育園・中学校・地域人材との交流により異校種間の交流により学校生活に潤いをもたせ、「来なくなる楽しい学校づくり」を推進している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、異学年の友達と一緒に、充実した活動をしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①児童会活動やクラブ活動、学校行事等において、縦割り班での活動を積極的に取り入れる。 ②幼稚園・保育園・中学校との交流を積極的に行い、授業や活動の内容の充実を図りながら、児童の豊かな心情を培う。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題	B7 児童は、自分の歯に関心を持ち、食後丁寧に歯磨きをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、食後ていねいに歯みがきをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①歯と口の健康に関する意識を高めるために、学校医や養護教諭と連携した授業や保健指導を行う。 ②保健だよりを毎月 1 回発行するとともに、むし歯のない児童を表彰して歯磨きへの意欲を高める。 ③保健委員会を活用して、歯の健康に対する関心を高める。 ④クラス全員での歯磨きをさらに徹底していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
----------	--	---	--------------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。